

令和7年度 指定管理者施設管理評価シート			部課名	教育委員会事務局学務課	
施設名称	35	東京都台東区立たいとうこども園	指定管理者	社会福祉法人東京児童協会	
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募		指定期間	R6.4.1	～ R16.3.31

1. 施設及び事業の概要	
(1)	[設置目的] 就学前の子供を保護者の就労の有無にかかわらず受け入れ、一貫した教育・保育を提供するとともに、併設の寿こども家庭支援センターと連携し、地域における子育て支援を行う。
(2)	[所在地] 台東区下谷3-1-12 [規模] 延床面積1,536.26㎡ SRC・RC一部S造 5階建のうち1階 乳児室、保育室、遊戯室、職員室、事務室、調理室、調乳室、保育士室
(3)	[委託事業] 認定こども園の管理運営 [自主事業] スポット延長保育
(4)	[利用者] 生後57日～就学前の児童 [利用料金制] <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
(5)	[開館日・時間] 月曜～土曜日(祝祭日・年末年始を除く)、午前7時15分～午後6時15分(延長保育は午後7時15分まで)
(6)	[人員体制] 50名 (内 訳) 園長(1) 副園長(1) 保育者(常勤25※うち育休1、非常勤8) 看護師(常勤1) 調理師・栄養士(常勤3、非常勤2※うち育休1) 事務(常勤1、非常勤1)、保育補助(常勤1、非常勤5) 嘱託医(1) (前年増減) 保育者(常勤)2減、(非常勤)2減、栄養士(常勤)2減、保育補助(非常勤)2減

2. 予算決算		R5予算	R5決算	R6予算	R6決算
収入	委託料(指定管理料)	262,910,000	262,900,699	267,246,000	267,243,824
	利用料金収入	587,000	584,754	600,000	548,131
	その他収入(研修費収入、寄附金等)	3,720,600	3,716,029	4,423,000	4,421,428
	計	267,217,600	267,201,482	272,269,000	272,213,383
支出	人件費	194,455,000	194,452,214	187,639,500	187,637,708
	光熱水費	0	0	0	0
	維持管理費(委託料・賃借料)	565,320	566,094	654,320	655,304
	修繕費	186,000	185,482	128,000	127,746
	事業費	28,884,914	28,881,207	25,058,000	25,053,124
	その他支出(印刷製本費、事務費等)	43,126,366	42,386,016	30,001,550	29,993,264
	計	267,217,600	266,471,013	243,481,370	243,467,146
収支			730,469		28,746,237

3. 活動指標	単位	(目標値)R8年度	R4年度	R5年度	R6年度
定員	人	161	161	161	161
年間保育日数	日	292	293	293	293

4. 成果指標	単位	(目標値)R8年度	R4年度	R5年度	R6年度
入所児童数(4月1日現在)	人	161	132	131	123

5. 前回評価及び第三者評価の結果に対する、現在までの取り組み状況

園で実施する様々な活動を全体の取り組みだけでなく、個人の様子を知る機会を求める保護者の声に対し、連絡帳アプリ等で日々の様子を伝えるなど個々に向けた対応の強化に取り組んでいる。また、面談の期間や頻度が少ないとの意見に対し、希望者の面談回数を増やし、保護者とのコミュニケーション強化に取り組んでいる。

6. 評価の観点

(20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり)
(13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った

(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
17 / 20 点	事業計画書等の作成・提出は概ね良好に行われている。また、雇用形態に応じた個別の就業規則を作成するなど、働きやすい職場環境づくりに取り組んでおり、適正な管理運営が行われている。今後は障害者法定雇用率達成に向け取り組んでいただきたい。
(2) 事業の運営	職員配置、職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
19 / 20 点	幼稚園教諭と保育士資格を併有した職員を多く配置し、法人内研修を多く実施するなど法人全体で人材育成に力を入れ、質の高い事業運営が行われている。一方で、入所者数が定員に満たない状況が続いているため、園児獲得に力を入れて取り組む必要がある。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
18 / 20 点	保守委託や職員による危険個所の点検など適切な施設維持管理ができています。また、リスクの洗い出しやヒヤリハット報告書の作成が徹底されており、職員への情報共有環境が整えられているが、事故が一定数発生しているため、再発防止策に取り組む必要がある。
(4) サービス向上の取り組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取り組みが積極的に行われているかを評価する。
19 / 20 点	保護者の意見を収集し、改善に取り組んでいるが、アンケート回収率が62.6%と低いためさらに高めるよう努力が必要である。第三者評価の「不満や要望に対応しているか」の項目においては約85%が対応されていると回答するなど、高い支持がされている。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	法人内の経理委員会を基盤とし、会計の運用方法等について継続的な見直しを図られている。管理経費の効率的な執行ならびに公認会計士による定期的な確認により、収支管理は適切に行われている。
(6) 優れた取り組み ◀加点項目▶ ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取り組みによる成果
5 点	相撲部屋見学や鮭の解体を通して、四肢の発達や受け身、礼儀・礼節等、日本文化の「和」への敬意や挑戦したいと思う意欲の育成及び命をいただく大切さに気付く貴重な機会を設けており、園児の心身の成長に大いに寄与している。

7. 総合評価 極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)

良好 (98 / 110点)	【所見】 毎年、法人独自に第三者評価を受診し、職員及び利用者の満足度を高めていくよう積極的に取り組んでいる。また、職員による危険個所の確認を毎日行うなど安心安全な保育環境の整備に努めており、良好な運営が行われている。	【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】 障害者の法定雇用率が達成できていない状況が続いているため、改善が必要である。また、区への連絡を失念することがあるため、報告・確認事項に漏れないよう、施設内で再度連絡体制の徹底を図る必要がある。
------------------------	---	--